取扱説明書

目次

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警告 身体に関する危険
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注意 財物や商品本体に関する危険
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用されるお客様へお願い】

本商品は公園等、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかる等思わぬケガの原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗等におけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上ご使用されるようお願い致します。

●ＳＧマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
●この商品はＳＧ基準により安定性､走行性､耐荷重､耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので､安心してお乗りください。
●対象年齢：１.５歳～5歳未満　　身長目安：８０cm～１００cmまで
　乗車体重：20kgまで　※バッグの制限重量（4kg）は含みません。

●安心ガードは､SGマーク制度対象外です。
●PLI制度はSGマーク制度対象外の製品及び部品の欠陥によって事故があった場合に補償する当社固有の制度です。

⚠警告

おとなといっしょ

●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間等で思わぬケガをする恐れがあります。
●坂道での使用は避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●２人乗りなどの危ない乗り方は絶対にしないでください。
●車輪の周囲や回転部分、または折りたたみ部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーは取り外し、ステップは折りたたんでください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック＆フリー機能をフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物を掛けたりすると倒れる恐れがあるので、物を掛けないでください。
●折りたたみ、使用状態にする操作の際、指や手をはさむ危険があります。操作は保護者が行い、お子様にはさせないでください。
●バッグにペット（犬・猫等）や生き物を入れないでください。
●バッグにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量4kg以下）。破損によるケガの恐れがあり大変危険です。

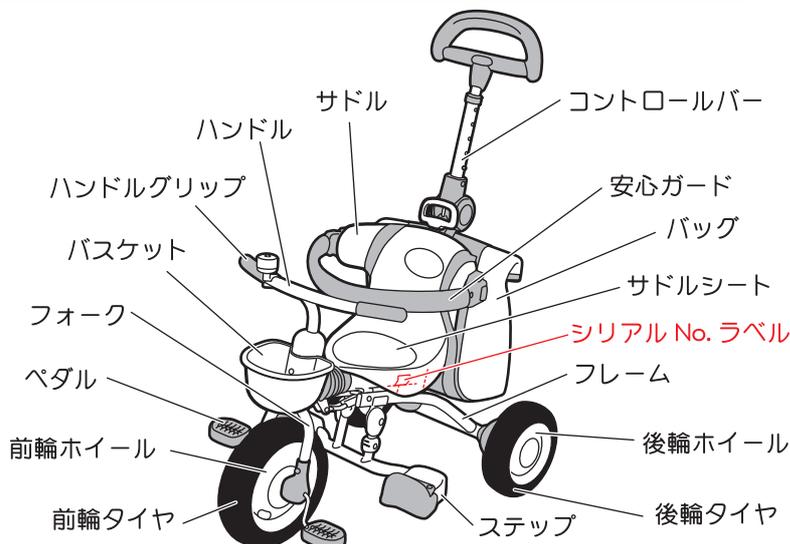
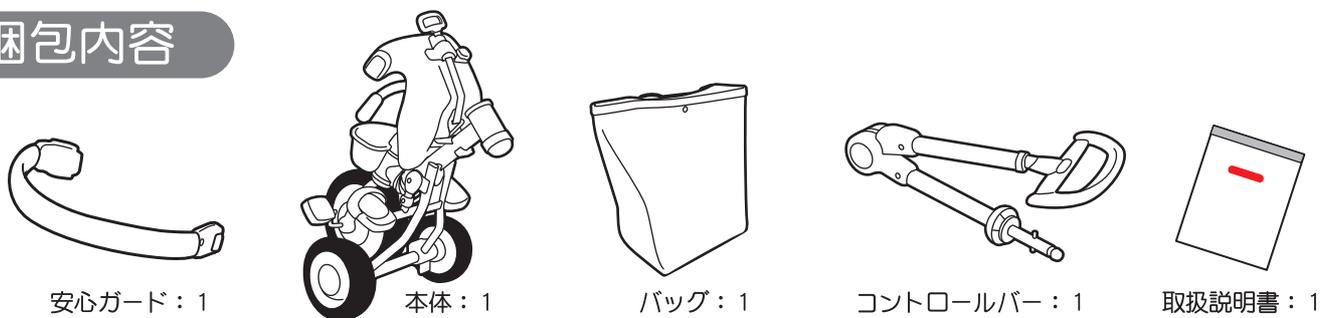
注意

●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

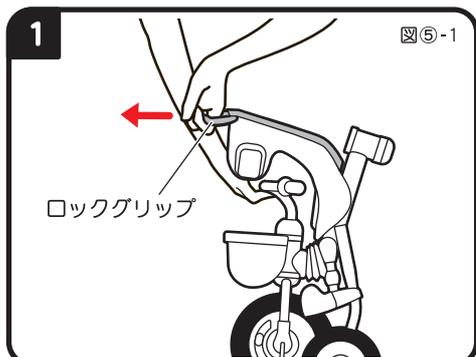
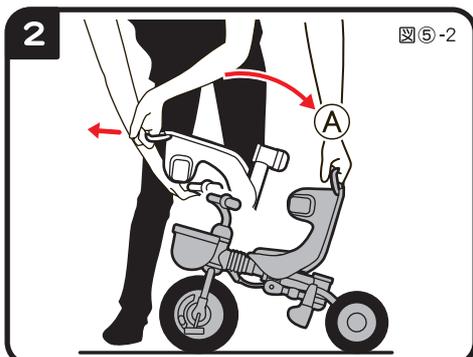
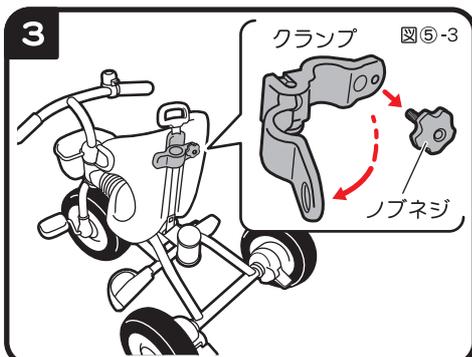
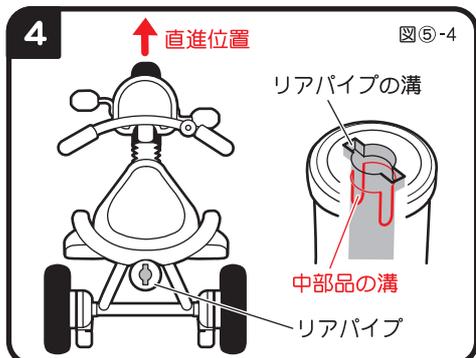
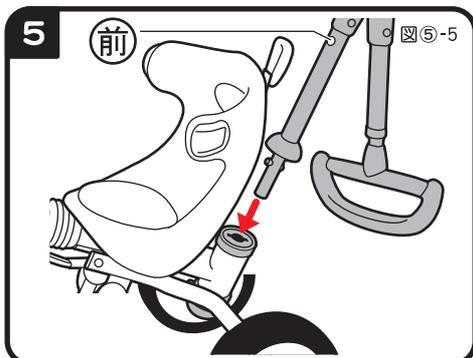
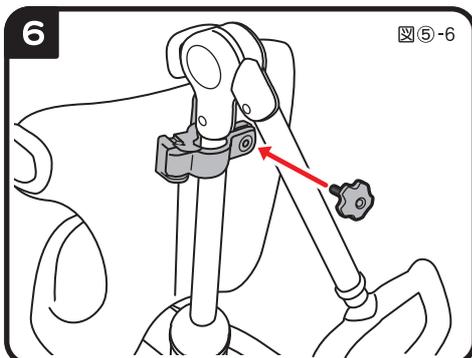
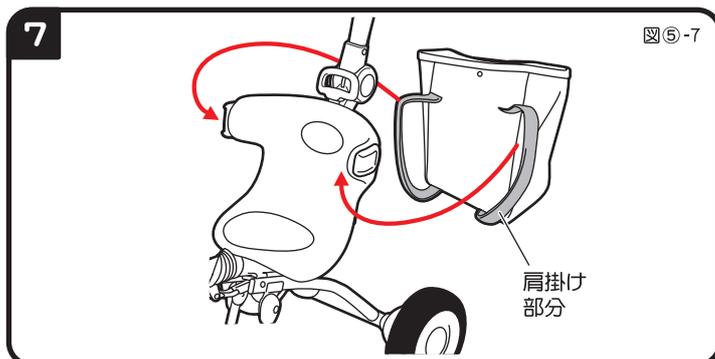
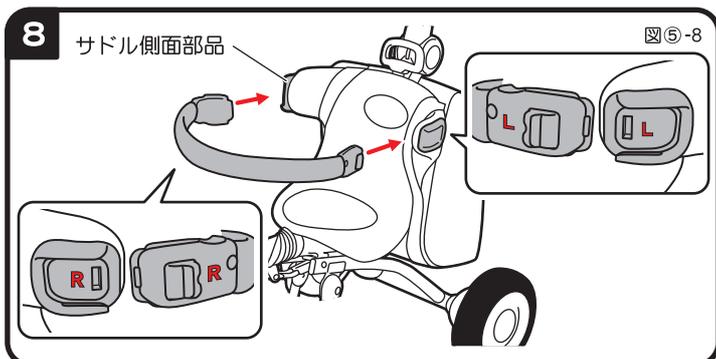
※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」､「注意」が表記してありますので､そちらもお読みください。

③ 各部の名称

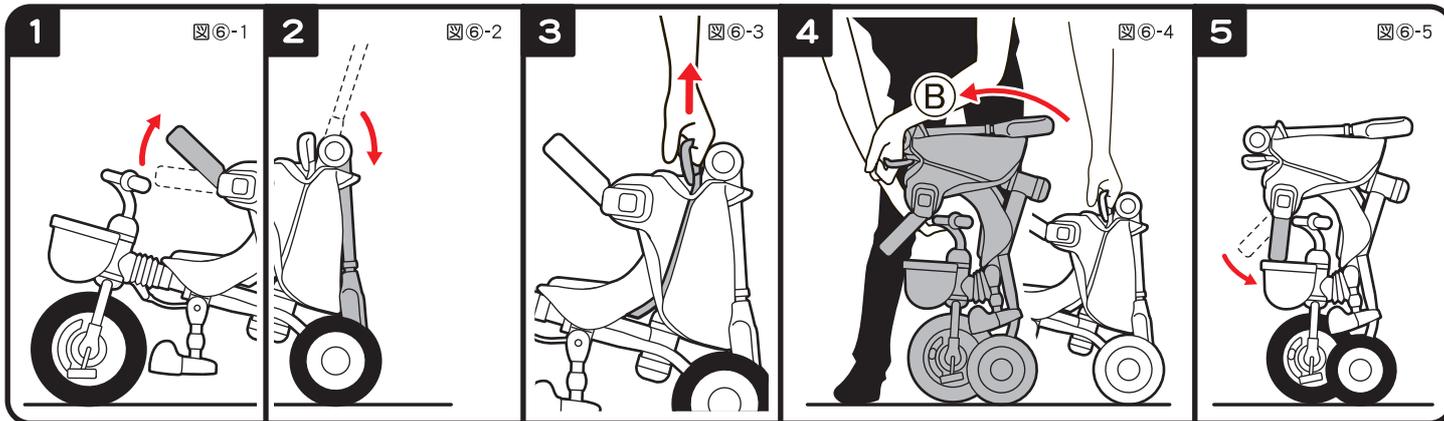
【材質】	
フレーム	スチール
ハンドル	スチール
フォーク	スチール
コントロールバー	スチール
サドル	ポリエチレン(PE)
バスケット	ポリプロピレン(PP)
前／後輪ホイール	ポリプロピレン(PP)
ペダル	ポリプロピレン(PP)
ステップ	ポリプロピレン(PP)
前／後輪タイヤ	エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)
サドルシート	塩化ビニール(PVC)
ハンドルグリップ	塩化ビニール(PVC)
安心ガード	エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)
バッグ	ポリエステル、塩化ビニール

サドル
ハンドル
ハンドルグリップ
バスケット
フォーク
ペダル
前輪ホイール
前輪タイヤ
コントロールバー
安心ガード
バッグ
サドルシート
シリアル No. ラベル
フレーム
後輪ホイール
後輪タイヤ
ステップ

④ 梱包内容

安心ガード：1　本体：1　バッグ：1　コントロールバー：1　取扱説明書：1

※タイヤの材質の特性上、輸送時の衝撃などで表面に凹みが見られる場合がありますが、問題なくご使用いただけます。

⑤ 組み立て方法　・組み立ては保護者の方が行ってください。

・サドルの上部にあるロックグリップを引いてロックを解除します。

・ロックグリップを引きながら Ⓐ の方向に動かし、使用状態にしてください。
・サドルを動かすときは、サドルが落ちないようにしっかり持ち、反対の手でハンドルを支えながら両手で行ってください。

・サドル背面のノブネジを外し、クランプを開いてください。

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。
・溝がズレているとコントロールバーが入りません（ハンドルと中部品は連動して動きますので溝がズレているときはハンドルを動かしてください）。

・ ㊒ マークを前にしてコントロールバーをリアパイプにしっかり差し込んでください。
・奥まで差し込むとコントロールバーがリアパイプにロックされます。
・差し込んだあと、コントロールバーを上方向に引っぱり、抜けないことを確認してください。

・サドル背面のクランプでコントロールバーをはさんで、ノブネジで固定してください。

・肩掛け部分をサドルに掛けてください。

・安心ガードの両端をサドル側面部品の溝に差し込むように入れてください。ガード先端の刻印とサドル側面部品の「L」「R」を合わせて取り付けてください（両方の文字を合わせないと安心ガードを取り付けることができません）。

⑥ 折りたたみ状態にする方法

1

・安心ガードを上げてください（安心ガードを上げずに折りたたみをするとガードがハンドルに引っかかり、円滑な操作ができません）。

2

・コントロールバーを折りたたんでください（6ページ【コントロールバーの立ち上げ、折りたたみ】参照）。

3

・ロックグリップを引き、ロックを解除します。

4

・ロックグリップを引きながらⒷの方向に動かし、折りたたみ状態にしてください。サドルを動かすときは、サドルが落ちないようにしっかり持ち、反対の手でハンドルを支えながら両手で行ってください。
・折りたたみ状態でロックされていることを確認してください。

5

・安心ガードを下げてください。

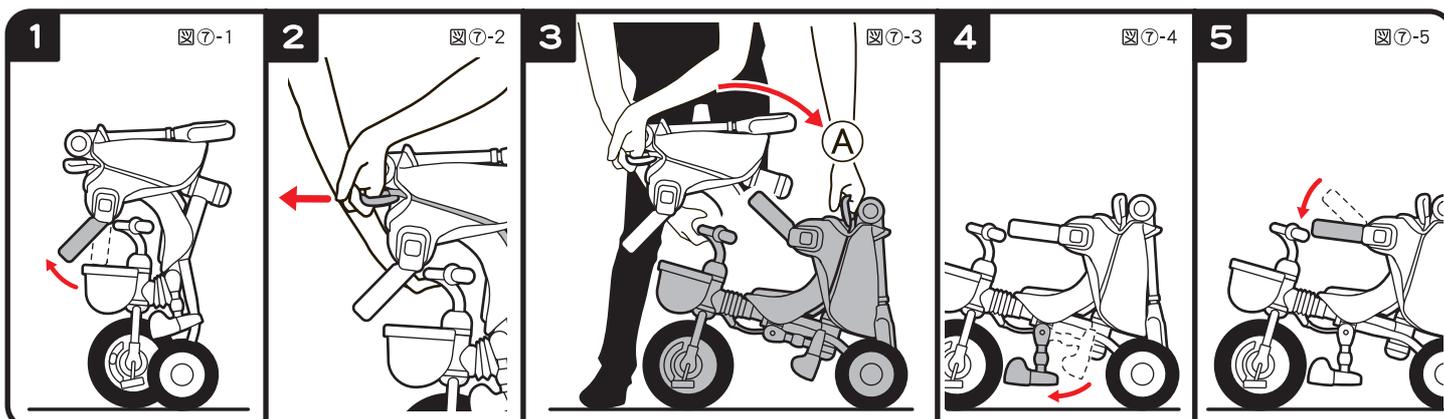
⚠警告

●折りたたみ操作の際、指や手をはさむ恐れがありますので十分注意してください。
●折りたたみ操作は保護者が行い、お子様にはさせないでください。
●バッグに荷物を入れたまま折りたたむと重心が不安定になり倒れやすくなります。バッグの荷物を出してから三輪車を折りたたんでください。
●折りたたみ状態にする際は、先にコントロールバーの折りたたみ（6ページ【コントロールバーの立ち上げ、折りたたみ】参照）を行ってください。
●折りたたみ操作を片手で行うと三輪車が不安定になり危険です。必ず両手で行ってください。
●三輪車を折りたたみ状態にすると同時にロックがかかります。必ずロックがかかっていることを確認してください。
●折りたたみ状態で自立させるときや保管するときは置く場所が平らであることを確認してください。傾斜した場所や凹凸のある場所に置くと転倒の恐れがあり危険です。

禁止✖

●ロックグリップを持って三輪車を持ち上げないでください。破損する恐れがあります。

⑦ 使用状態にする方法

1

・安心ガードを上げてください（安心ガードを上げずに使用状態にするとガードがハンドルに引っかかり、円滑な操作ができません）。

2

・ロックグリップを引き、ロックを解除します。

3

・ロックグリップを引きながらⒶの方向に動かし、使用状態にしてください。サドルを動かすときは、サドルが落ちないようにしっかり持ち、反対の手でハンドルを支えながら両手で行ってください。
・使用状態でロックされていることを確認してください。

4

・ステップを下げてください（5ページ【⑨ステップの操作方法】参照）。

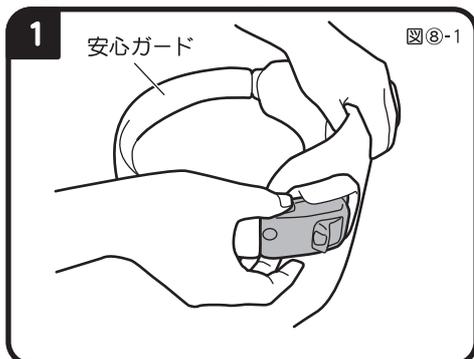
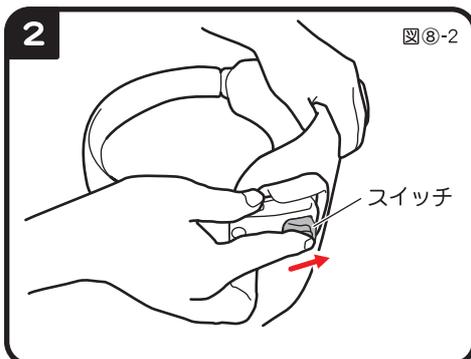
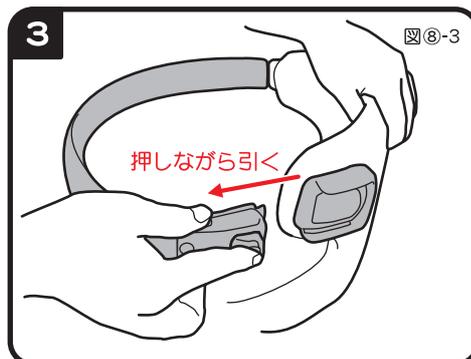
5

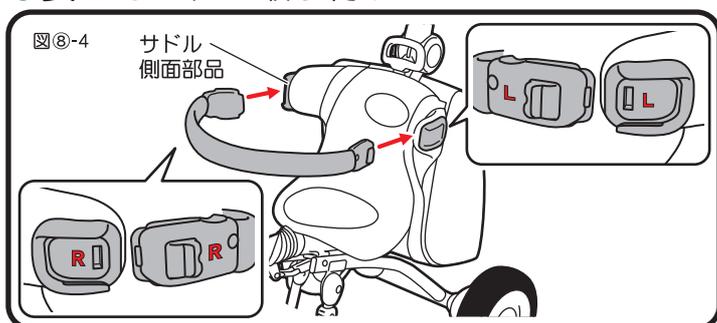
・安心ガードを下げてください。

⚠警告

●サドルを下げるとき指や手をはさむ危険がありますのでサドルの下に指や手を近づけないでください。
●使用状態にする操作は保護者が行い、お子様にはさせないでください。
●使用状態にする操作を片手で行うと三輪車が不安定になり危険です。必ず両手で行ってください。
●三輪車を使用状態にすると同時にロックがかかります。必ずロックがかかっていることを確認してください。

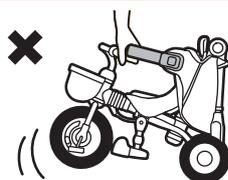
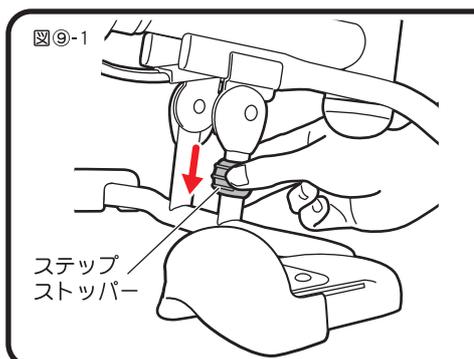
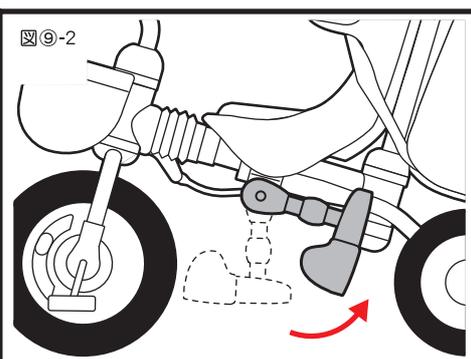
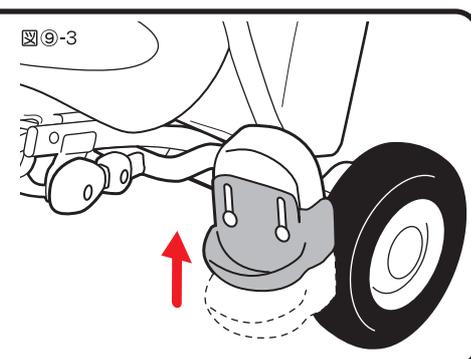
⑧ 安心ガードの操作方法

●安心ガードの開閉、取り外し

・安心ガードの先端の上下を図のようにつまみ、もう片方の手でサドルを支えます。

・安心ガードの先端のスイッチを後方に押すとロックが解除されます。

・スイッチを押したまま矢印の方向へスライドさせると安心ガードが外れ、開くことができます。
・反対側も同様にすると安心ガードが外れます。

●安心ガードの取り付け

・安心ガードの両端をサドル側面部品の溝に差し込むように入れてください。ガード先端の刻印とサドル側面部品の「L」「R」を合わせて取り付けてください（両方の文字を合わせないと安心ガードを取り付けることができません）。
※３ページ【組み立て方法】の⑧と同じです。

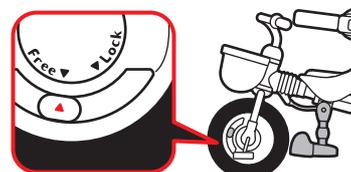
注 意

●安心ガードの上に乗ったり無理な力を加えないでください。
●安心ガードの開閉、取り付け / 取り外しは保護者が行ってください。
●安心ガードの開閉、取り付け / 取り外しをする際は指や手をはさまないように注意してください。

●安心ガードを持って三輪車を持ち上げないでください。破損する恐れがあります。

⑨ ステップの操作方法

・ステップストッパーを矢印の方向に引き下げるとロックが解除されます。

・ストッパーを引き下げながらステップを矢印の方向へ上げてください。ステップが完全に上がりきると再度ロックがかかります。

・ステップ先端を押し上げ収納してください。

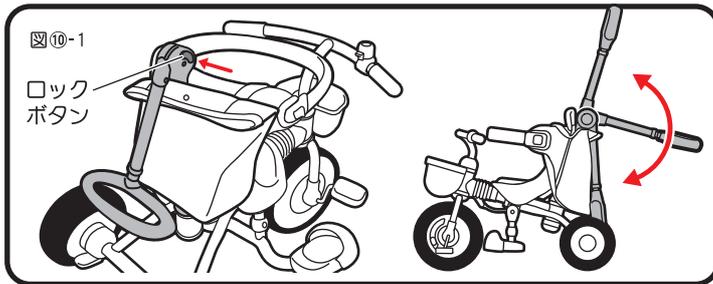
※ステップを下げるときも同じようにロックを解除してからステップを下げてください。

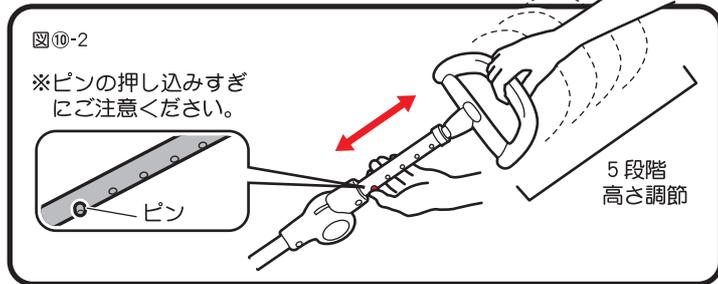
必ず確認してください

●ステップをご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり破損する恐れがあります。
※ロック＆フリー機能については７ページ【⑫ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。

⚠警告

●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず折りたたんでください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。

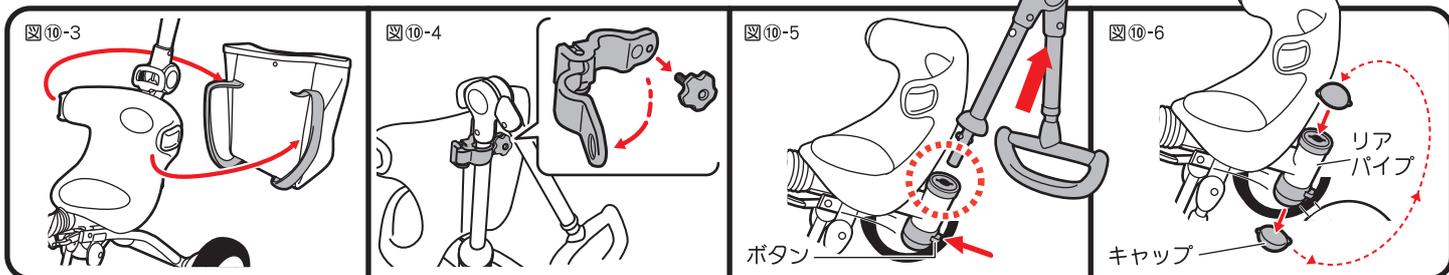
⑩ コントロールバーの調節/取り外し方法

●コントロールバーの立ち上げ、折りたたみ

・コントロールバー中間にあるロックボタンを押すと立ち上げ、折りたたみができます。角度は３段階で止まります。
・折りたたみをするときはバッグの口を閉じてください。

●コントロールバーの高さ調節

・ピンを押しながらコントロールバーの上部を上下させてください。高さは５段階に調節できます。横穴からピンが出るまでスライドさせてください。

注 意

●立ち上げ、折りたたみの際は、コントロールバーが急に落ちてこないようにコントロールバー上部をしっかり持って動かしてください。
●三輪車本体の折りたたみの際にはコントロールバーの折りたたみを始めに行ってください。
●ピンが穴から出ていることを確認してください。ピンが穴から出ていないと使用中にコントロールバーが抜けてしまう可能性があります。
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（７ページ【⑫ロック＆フリーの取り扱い】参照）にしてください。
●段差のある場所での使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。

●コントロールバーの取り外し

・バッグを外してください。

・サドル背面のノブネジを外し、クランプを開いてください。

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にしてボタンを押しながらコントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。

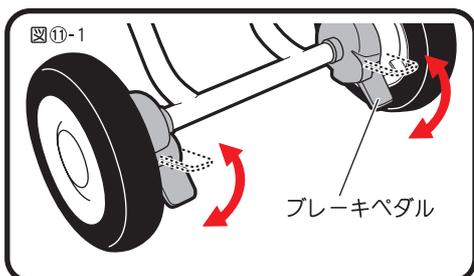
・リアパイプ下側からキャップを外しリアパイプの上に取り付けてください。

⚠警告

●コントロールバーを外した後はキャップを必ずリアパイプ上側に取り付けてからご使用ください。キャップを取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。

注 意

●キャップの取り付けは保護者が行ってください。
●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬケガの原因になります。また、小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

⑪ ブレーキの操作方法

・ブレーキをかけたいときは左右のブレーキペダルを下げてください。
・ブレーキを解除したいときは左右のブレーキペダルを上げてください。

⚠警告

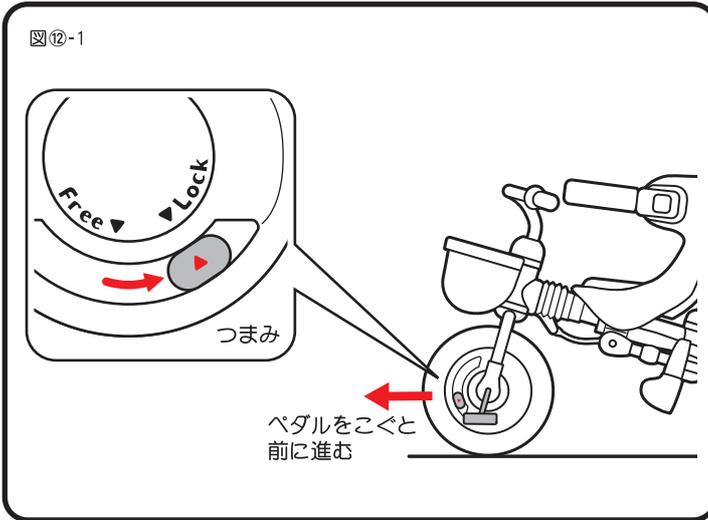
●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
●ブレーキを操作する際は必ず左右のブレーキペダルを同じように操作してください。左右がそろっていないと正常に動作しません。

注 意

●ブレーキペダルの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ずブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

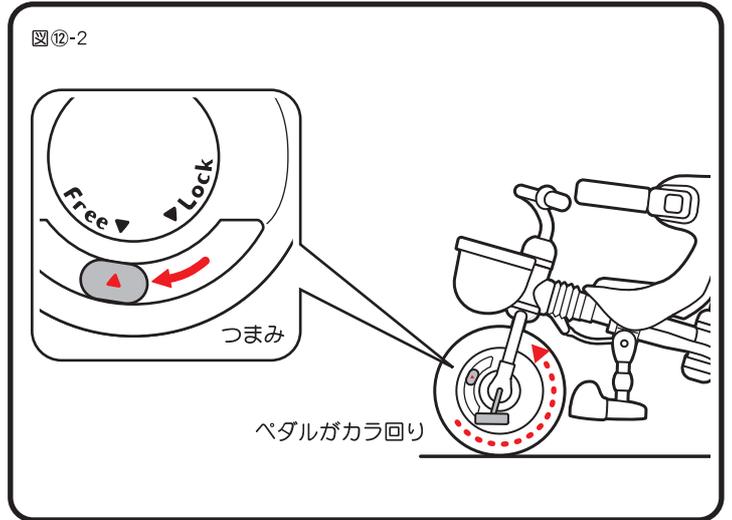
⑫ ロック＆フリーの取り扱い

●ロック状態

図⑫-1

・お子様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印をLOCK(ロック)に合わせてください。

つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。

●フリー状態

図⑫-2

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルが一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に万が一足をはさんでもケガをしないようにするための機能です。

⚠警告

●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
●お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注 意

●ロック＆フリーの切り替えは、保護者が行ってください。
●ご使用になる前は、必ずロック状態、フリー状態の確認を行ってください。
●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

⑬ バッグについて

●お手入れ方法

・ほこりなどは柔らかい布で払い落としてください。
・汚れなどは水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、その布を良く絞ってから拭き取ってください。

●禁止事項

・ベンジンやシンナーなど揮発性溶剤を使用しないでください。
・洗濯やドライクリーニングはしないでください。

注 意

●三輪車にバッグを取り付けた状態で荷物の出し入れをする場合は、三輪車のブレーキをかけて行ってください。
●バッグに鋭利なものを入れないでください。バッグ布部分が破れる恐れがあります。
●バッグにお子様や重い物を載せたりしないでください(制限重量4kg以下)。破損の恐れがあり危険です。
●バッグにペット(犬、ネコなど)や生き物を入れないでください。
●バッグは「アイデス折りたたみコンポ」専用です。他の用途には使用しないでください。
●バッグの品質保証は本体保証書に則します。お客様の不注意による破損や洗濯による色落ちなどは保証の対象外となります。